

家庭や地域、職場、あるいはネット空間で、ついつい言いがちなことや考えがちなこと、それはあなたにとっての『当たり前』かもしれない。でも、その『当たり前』が物事を正しく理解することを妨げ、また誰かを追い詰めているとしたら・・・？

人の意識や態度、その人にとっての『当たり前』に大きな影響を及ぼすもの。その一つが「バイアス」という私たち一人ひとりに備わる心の仕組みです。

バイアスとは？

私たちは、「あの人はこんな人に違いない」「普通はこうすべきだ」など、合理的な理由もなく人や物事に対して思い込み、決めつけることがあります。そうした人の思考や判断に歪みや偏り（思い込み）をもたらす心の仕組みを総称して「バイアス (bias)」と呼びます。本人は無意識であることから、「アンコンシャスバイアス：無意識の偏見・思い込み」とも言われます。

様々なパターンのバイアス

会議にて・・・

ベテランAさん 「発言がなくて短時間で終わる会議が良いに決まっているのに……。あの人はいつも発言する。常識がないね。」

新人Bさん 「はあ、そうですね。」
(初めて参加したけど、そういうものか)

儀(ぎ)の合意効果

自分の考えや行動が常に多数派で常識的で正常だと思いつつ、異なる考えを「間違い」とみなしやすくなる。

職場で・・・

Cさん 「あの人はいつも定時に帰る。だから成果が上がらないんだな・・・」

確認バイアス

自分の考えに合う都合の良い情報ばかりを集め、そうではない情報を探そうとしなくなる。

地域で・・・

Dさん 「日本にいる外国人労働者は、出稼ぎか一時的な滞在者でしょう？」

ステレオタイプバイアス

あるグループに所属するものには、特定の特徴があると判断すること。

バイアスはなくせる？

バイアスは人間に備わる本能的な機能のため、完全になくすことはできません。ただ、バイアスに基づく言動が起きないように（問題にならないように）コントロールすることはできます。

- 様々なバイアスについて学ぶ
- 自分の言動がバイアスに影響されていないか、自己チェックする
- 人と指摘し合う 「それ、バイアスかも？」 ⇒ 指摘されたら素直に認め直す！

一人ひとりの人権感覚を磨き、真の多様性を認め合う社会へ！

さくら市教育委員会
生涯学習課